

2013年度 一般1月入学試験

# 世界史

## 〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は17ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があつてから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 世界史

(60分 100点)

I ロシア史について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(34点)

12世紀につくられた年代記によると、9世紀に、リューリクを首領とするノルマン人の一派(ルーシ)は、ドニエプル水系の  地域に進出し、ノヴゴロドを支配拠点とした。リューリクの死後、彼の幼子イーゴリを擁してその一族のオレーグがノヴゴロドから南下してキエフ公国(後に大公国)をたてた。10世紀末、イーゴリの孫ウラディミル1世は、ビザンツ帝国皇帝の妹アンナとの結婚を条件に、キリスト教の洗礼を受けるとともに、キリスト教を国教として採用した。こうしてキエフ＝ロシアはビザンツ帝国との結びつきを強化し、キリスト教ヨーロッパの中の一國として支配基盤を確立したが、ローマ教会を中心とする西ヨーロッパとは異なるギリシア正教圏に入ることになる。

この当時はまだコンスタンティノープル教会とローマ教会の分離は決定的なところまで至っていなかったが、8世紀における聖像崇拜論争や聖霊に関する論争などから両教会の対立は深まっていた。1054年、ローマ教皇特使とコンスタンティノープル総主教との間の相互の破門宣告によって、東西両教会の分離は決定的となり、ついには1204年に第4回十字軍がコンスタンティノープルを占領して  を建設するに至った。

ロシアでは、ウラディミル1世の子ヤロスラフ1世の死後、内紛・分裂がつづき、大公位もキエフからウラディミルへと移された。13世紀に入って東方からバトゥがひきいるモンゴル軍が侵入し、南ロシアにキプチャク＝ハン国をたて、ロシアの諸公はハンに屈服して忠誠を誓った。こうしてロシアは、約240年にわたって「タタールのくびき」とよばれるモンゴルによる間接支配を受けることになる。

ウラディミル大公国の南西部に位置するモスクワは、13世紀末から急速に発展し、14世紀に入り、モスクワ公イヴァン1世は、ウラディミル大公位を獲得してモスクワを大公国とした。1462年にモンゴルの承認なしにモスクワ大公となったイヴァ

ン3世は、1453年にほろんだビザンツ帝国最後の皇帝の姪ソフィアと結婚して、<sup>(6)</sup>ローマ帝国の後継者をもって自任した。彼は神聖ローマ帝国の双頭の鷲の紋章を使用して、はじめて「ツァーリ（皇帝）」の称号を名のった。<sup>(7)</sup>イヴァン3世は、東北ロシアを統一し、1480年にはキプチャク＝ハンに対する忠誠をはっきりと拒否して、ついにロシアを「タタールのくびき」から解放した。彼のもとで大公権は次第に専制化し、農民も移転の自由を制限された。

1598年、イヴァン4世の子フョードルが跡継ぎのないまま死去して、7百年余りにわたるリューリク朝は断絶した。動乱期を経て、1613年、全国会議は新しいツァーリとしてイヴァン4世の最初の<sup>ママ</sup>后アナスターシャの出身家門である  家から若き後継者ミハイルを選出した。1917年の二月革命（三月革命）で  が退位するまで300年余りつづく  朝がここにはじまり、第2代皇帝アレクセイのとき、1649年に発布された会議法典でロシア農奴制の立法化が完成した。<sup>(8)</sup>

の時代にロシアはヨーロッパの強国のひとつにのしあがる。1697年春、彼はヨーロッパへ約300人からなる大使節団を派遣し、自らも同行して16ヶ月間にわたって先進的な技術を学び、各分野の専門家を多数連れもどった。帰国後、彼は、イヴァン4世が試みて果たせなかったバルト海への進出を企てた。三十年戦争で戦勝国となってバルト海を支配していた  との北方戦争は1700年から21年余りの長きにわたり、彼は、戦争の中でさまざまな改革をおこなわなければならなかった。戦争で皇帝が不在中の職務代行機関として元老院をつくり、徴兵制による軍隊の増強と近代化を断行した。また、北方戦争中にフィンランド湾に注ぐネバ川の河口に新首都  をきずいて西ヨーロッパへの道をひらいた。そしてこの戦争でついにバルト海東岸地方を獲得し、戦勝の功により彼は、元老院から西ヨーロッパ風の「インペラートル（皇帝）」の称号を贈られ、ツァーリにしてインペラートルと名のることになる。以後、ロシアは「ロシア帝国」となる。

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- ① スラヴ人 ② ウイグル人  
③ マジャール人 ④ ケルト人

- ① アッシリア帝国 ② オスマン帝国  
③ ムガル帝国 ④ ラテン帝国

- ① カロリング ② ヴァロワ  
③ ハノーヴァー ④ ロマノフ

- ① ピョートル1世 ② アレクサンドル2世  
③ ニコライ2世 ④ エカチェリーナ2世

- ① ピョートル1世 ② アレクサンドル2世  
③ ニコライ2世 ④ エカチェリーナ2世

- ① デンマーク ② スウェーデン  
③ フィンランド ④ ポーランド

- ① ハンブルク ② リューベック  
③ ペテルブルク ④ ニュルンベルク

問2 文中の下線部(1)に関連して、次の2つの問いに答えなさい。

(a) 1066年にノルマン＝コンクエストによってノルマン朝がひらかれた国を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① フランス
- ② デンマーク
- ③ イングランド
- ④ スウェーデン

(b) ノルマン人がたてた国を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 両シチリア王国
- ② ヴァンダル王国
- ③ カスティリヤ王国
- ④ アラゴン王国

問3 文中の下線部(2)に関連して、次の2つの問いに答えなさい。

(a) 10世紀に完成したビザンツ帝国の中央集権体制の名称を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① イクター制
- ② 軍管区制
- ③ ヴァルナ制
- ④ 郡県制

(b) ビザンツ文化に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 11

- ① ビザンツ文化は、ギリシア古典文化の遺産とギリシア正教の融合に特色がある。
- ② ビザンツの公用語は、7世紀以降ギリシア語がもちいられた。
- ③ ビザンツ様式の教会建築は、空高くそびえる塔と尖頭アーチとステンドグラスを特徴とする。
- ④ ビザンツ美術の特色のひとつは、聖母子像などをえがいたイコン美術である。

問4 文中の下線部(3)に関連して、726年に聖像禁止令を発布した人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 12

- ① ローマ教皇グレゴリウス1世
- ② ローマ教皇レオ3世
- ③ ビザンツ皇帝ユスティニアヌス1世
- ④ ビザンツ皇帝レオン3世

問5 文中の下線部(4)に関連して、次の問いに答えなさい。商業上のライバル都市であるコンスタンティノープルを占領するよう十字軍に要求した商人を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 13

- ① フィレンツェ商人
- ② ヴェネツィア商人
- ③ ミラノ商人
- ④ ジェノヴァ商人

問6 文中の下線部(5)に関連して、バトゥがひきいるモンゴル軍が、ドイツ・ポーランド連合軍を破ってヨーロッパ世界をおびやかした戦いを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 14

- ① ワールシュタットの戦い                      ② ワーテルローの戦い
- ③ タンネンベルクの戦い                      ④ タラス河畔の戦い

問7 文中の下線部(6)に関連して、ビザンツ帝国をほろぼしたオスマン帝国のスルタンを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 15

- ① バヤジット1世                                  ② メフメト2世
- ③ セリム1世                                      ④ スレイマン1世

問8 文中の下線部(7)に関連して、15世紀中ごろ以来神聖ローマ帝国の帝位を世襲し、双頭の鷲を紋章としたオーストリアの王家を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 16

- ① ホーエンツォレルン家                      ② ハノーヴァー家
- ③ ハプスブルク家                              ④ ブルボン家

問9 文中の下線部(8)に関連して、1861年に農奴解放令を發布したロシア皇帝を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 17

- ① ピョートル1世                                  ② アレクサンドル2世
- ③ ニコライ2世                                    ④ エカチェリーナ2世

Ⅱ ウィーン体制について述べた次の文章を読んで、以下の間に答えなさい。(32点)

皇帝ナポレオン1世は、1812年におこなった [ 18 ] 遠征に失敗し、つづくライプチヒの戦いにおいても敗北し、その後パリが占領された結果退位して、エルバ島に流された。フランスでは [ 19 ] の弟が [ 20 ] として即位し、対仏同盟諸国との間でパリ条約が締結された。

革命とそれにとまなう戦争に巻き込まれたヨーロッパを再建するため、1814年から翌年にかけてすべてのヨーロッパ諸国が集合し、ウィーン会議が開かれた。この会議では、フランス革命以前の国際関係にヨーロッパをもどすと同時に、フランス革命前の王朝と旧制度の復活をめざす理念が確認された。<sup>(2)</sup>同時に、フランス革命以降のフランスのように、突出した力をもった国がでてこないように連携することがヨーロッパ諸国共通の政策目標とされたのである。大国間の [ 21 ] が国際秩序維持のための方策として受け入れられたのである。なお、この政治体制をウィーン体制という。

[ 21 ] によるヨーロッパ秩序の維持は、具体的にはロシア主導の [ 22 ] およびイギリスとロシアが主導する四国同盟が基軸となった。この点で見逃してはならないのが、[ 23 ] を創出するイギリスである。イギリスが海外植民地の拡大により獲得した経済力と圧倒的な海軍力を背景とした<sup>(3)</sup>強大な影響力を、ヨーロッパの秩序を維持するために利用していたため、しばらくの間ヨーロッパでは平和が保たれたのである。

もともと、会議においては各国の思惑が交錯し、議論はなかなか進まなかった。<sup>(4)</sup>たとえば、いまや覇権国たるイギリスと会議を仕切るオーストリアが、フランスや、中央ヨーロッパにおいて一大勢力をきずこうとするロシアを抑え込むために協同したかと思えば、一方でプロイセンの扱いをめぐる対立した。

[ 21 ] にもとづくヨーロッパの協調体制も、19世紀半ばをすぎると動揺する。自由主義とナショナリズムの高揚によってウィーン体制に対する反対運動がおき、<sup>(5)</sup>また、大国同士の抗争もはじまっていたからである。とりわけ、[ 24 ] が追放される<sup>(6)</sup>七月革命とそのヨーロッパへの影響、これに加え<sup>(7)</sup>ギリシア独立とこれに関連する<sup>(8)</sup>東方問題、さらに1853年 [ 25 ] がおきたことは、ウィーン体制を崩壊さ

せるのに十分であった。

問1 文中の空欄  ～  に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。  ～

- ① ロシア ② プロイセン  
③ スペイン ④ イギリス

- ① ルイ14世 ② ルイ16世  
③ ルイ18世 ④ ルイ＝フィリップ

- ① ルイ14世 ② ルイ16世  
③ ルイ18世 ④ ルイ＝フィリップ

- ① 世界政策 ② 集団安全保障  
③ 宥和政策 ④ 勢力均衡

- ① 神聖同盟 ② シュマルカルデン同盟  
③ ハンザ同盟 ④ 三帝同盟

- ① パックス＝ロマーナ ② パックス＝ブリタニカ  
③ パックス＝アメリカーナ ④ 神の平和

- ① シャルル7世 ② シャルル8世  
③ シャルル9世 ④ シャルル10世

- ① 第1次バルカン戦争 ② ロシア＝トルコ戦争  
③ エジプト＝トルコ戦争 ④ クリミア戦争

問2 文中の下線部(1)に関連して、このときライプチヒが位置していた国の当時の名称として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

26

- ① プロイセン
- ② スイス
- ③ ライン同盟
- ④ 教皇領

問3 文中の下線部(2)に関連して、この理念の名称として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

27

- ① 絶対主義
- ② 共和主義
- ③ 正統主義
- ④ 帝国主義

問4 文中の下線部(3)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

28

- ① イギリスは、アンボイナ事件以降、マドラス、ボンベイ、カルカッタを基地として、インド経営に力を注いできた。
- ② フレンチ＝インディアン戦争で勝利を収めたイギリスは、1763年パリ条約でカナダとミシシッピ川以東のルイジアナ、フロリダ、西インド諸島の一部およびセネガルを獲得した。
- ③ イギリスは、スペイン継承戦争の結果、スペインからニューファンドランド・アカディア・ハドソン湾地方などを獲得した。
- ④ 1757年、イギリスはプラッシーの戦いでフランスを破り、イギリス領インドの基礎をきずいた。

問5 文中の下線部(4)に関連する記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 29

- ① ナポレオン1世がエルバ島を脱出し、パリでフランス国王に復位したため、ウィーン会議に参加した諸国間での協議は妥協に向かった。
- ② ポーランド王国の大部分を占めていたワルシャワ大公国は、ティルジット条約によりナポレオンがたてた国であった。
- ③ この会議で議長を務めたオーストリア外相メッテルニヒは、19世紀前半のヨーロッパにおける反動政治を展開したが、1848年二月革命で失脚した。
- ④ この会議で大国が対立を深めるなか、敗戦国のフランスに実質的に会議の主導権を握らせたのは、ルイ18世の外務大臣であったミラボーであった。彼の画策によって、ロシアのニコライ1世は自らの要求を縮小させられることとなった。

問6 文中の下線部(5)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 30

- ① メキシコでは、植民地生まれの白人のメスチーソであるイダルゴが独立を達成した。
- ② シモン＝ボリバルは南米北部のスペイン領で独立運動を展開した。
- ③ オーストリアはウィーン体制への反抗運動に対し、保守主義の立場から抑圧した。
- ④ ハイチ独立運動の指導者トゥサン＝ルヴェルチュールは「黒いジャコバン」とよばれた。

問7 文中の下線部(6)に関連して、大国のアメリカ大陸へのかかわり方として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 31

- ① イギリスは1820年ごろにはウィーン体制を離れる姿勢をみせはじめていたが、外相カニングは、ラテンアメリカ諸国の独立を認めることによって、この地域の市場開拓をはかった。
- ② ロシアも、ベーリングの探検航海を皮切りにアラスカから南下しはじめるなど、アメリカ大陸に領土的野心をもっていた。
- ③ ラテンアメリカ諸国に対するアメリカおよびフランスの対応が原因で、メッテルニヒはラテンアメリカ大陸における独立運動に干渉することができなかった。
- ④ アメリカはモンロー教書においてヨーロッパとアメリカ大陸の相互不干渉を唱えた。

問8 文中の下線部(7)に関連する記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 32

- ① オランダに併合されたベルギーでは暴動がおき、臨時政府が樹立されるが、独立は達成されなかった。
- ② ドイツでは労働者組合ブルシェンシャフトによる自由主義運動が活発化した。
- ③ ポーランドにおこった反乱は鎮圧された。
- ④ イタリアではカルボナリ党が神聖ローマ帝国の支配からの解放を企てたが失敗した。

問9 文中の下線部(8)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

33

- ① 東方問題の背景には、ロシアの南下政策と、イギリスによるロシア膨張阻止の動きがあった。
- ② イギリス、フランス、ロシア、オスマン帝国はギリシア独立戦争を支援した。
- ③ ロシアはコンスタンティノープル獲得の機会をうかがい、ギリシア独立運動を支援し、南下政策を推進した。
- ④ エジプト＝トルコ戦争では、ロシアはオスマン帝国を援助した。

### Ⅲ 朝鮮半島について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(34点)

朝鮮半島は、1392年に李成桂が王位についてから、約500年にわたり、朝鮮王朝により統治されていた。<sup>(1)</sup>しかし、19世紀後半からはじまる列強の東アジア進出の波は朝鮮半島にもおよび、20世紀初頭からこの地は韓国併合によって、35年間にわたり日本の植民地とされてきた。第二次世界大戦での日本の敗戦により、朝鮮半島は連合国の管理下に置かれ、北緯38度線より南側を [ 34 ] ，北側を [ 35 ] が管理することとなった。そして1948年に [ 36 ] を首相とする [ 37 ] と、 [ 38 ] を大統領とする [ 39 ] が成立した。半島の統一をめぐる、両国は激しく対立した。そして1950年、 [ 37 ] の軍隊が突如38度線を越えて [ 39 ] に侵入し、両国は戦争に突入した。

戦争の初期は [ 39 ] の<sup>(4)</sup>軍事的劣勢および準備不足から、 [ 37 ] の軍隊はまたたくまに南下し、半島の南端近くにまで侵攻した。しかし、国連軍の派遣とそれに対する [ 40 ] の義勇軍の派遣により、戦線は<sup>(5)</sup>膠着した。1953年に休戦協定が結ばれ、戦火はやんだ。

その後 [ 39 ] では、1961年になって、軍事クーデターにより軍部が政権を握った。軍事政権は国内経済を立てなおし発展させたが、一方では国民の自由を制限し、<sup>(7)</sup>反対派を弾圧した。しかし1980年代に高まった民主化要求により、1987年に大統領選出の国民選挙を実施した。そして1992年の国民選挙によって文民出身の金泳三が大統領に選出され、軍事政権による政治は終わった。

[ 37 ] では、 [ 36 ] を最高権力者とする独裁体制が固められた。 [ 35 ] や [ 40 ] などからの援助を受けつつ、経済復興をめざしたが、農業政策の失敗や天災などにより、生産は増えず、各地で深刻な食糧不足がおこった。しかし [ 39 ] が経済復興をとげ工業化をすすめていることに対抗するため、軍事力拡張を優先させた。1994年に [ 36 ] が急死すると、長男の [ 41 ] が後を継いで最高権力者となった。しかしたび重なる自然災害に加え、軍事費の増大により経済状況は悪化し、また社会主義諸国の崩壊で援助も期待できなくなった。そして1993年には核拡散防止条約から脱退するなど、<sup>(8)</sup>国際社会からも孤立していった。

[ 39 ] では1997年の選挙で [ 42 ] が大統領に選出された。 [ 42 ] は

37 に対し、太陽政策を展開して関係改善をはかった。その結果、2000年に南北両朝鮮首脳会談が実現した。42 はこの功績により、同年ノーベル平和賞を受賞した。

問1 文中の空欄 34 ~ 42 に入る語句として適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 34 ~ 42

- 34 ① アメリカ ② イギリス  
③ ソ連 ④ 中国

- 35 ① アメリカ ② イギリス  
③ ソ連 ④ 中国

- 36 ① 金正日 ② 金大中  
③ 金正恩 ④ 金日成

- 37 ① 大韓帝国 ② 朝鮮民主主義人民共和国  
③ 大韓民国 ④ 中華民国

- 38 ① 李元昊 ② 李承晩  
③ 李舜臣 ④ 李登輝

- 39 ① 大韓帝国 ② 朝鮮民主主義人民共和国  
③ 大韓民国 ④ 中華民国

- 40 ① アメリカ ② イギリス  
③ ソ連 ④ 中国

41

- ① 金正日  
③ 金正恩

- ② 金大中  
④ 金日成

42

- ① 金正日  
③ 金正恩

- ② 金大中  
④ 金日成

問2 文中の下線部(1)に関連して、この人物が倒した王朝を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 43

- ① 高句麗                      ② 百濟                      ③ 新羅                      ④ 高麗

問3 文中の下線部(2)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 44

- ① 韓国統監府初代統監であった伊藤博文は、ハルビンで安重根に暗殺された。  
② 3次にわたる日韓協約により、日本は韓国の外交・内政を掌握した。  
③ 下関条約の調印により、ロシアは日本に韓国の保護権を認めた。  
④ 1907年の軍隊解散令をきっかけに、半島全土で反日義兵闘争がおこった。

問4 文中の下線部(3)に関連して、当時日本に割譲され、日本の統治下にあった地域を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 45

- ① 台湾                      ② 満州                      ③ 樺太                      ④ 琉球

問5 文中の下線部(4)に関連する記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 46

- ① 日本は戦争関連製品の生産を両陣営から受注し、経済を復興させた。
- ② 日米安全保障条約の締結により、日本に米軍が駐留した。
- ③ 日本は警察予備隊を創設し、戦地に派遣した。
- ④ アメリカは「封じ込め政策」をかかげて、共産圏との対決姿勢を強めた。

問6 文中の下線部(5)に関連して、国連軍の主力を担っていた国を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 47

- ① アメリカ
- ② イギリス
- ③ フランス
- ④ ドイツ

問7 文中の下線部(6)に関連して、このクーデターの中心人物で、1979年に暗殺されるまで政権を掌握していた人物を、次の①～④の中から一つ選びマークしなさい。 48

- ① 蒋介石
- ② 鄧小平
- ③ 金玉均
- ④ 朴正熙

問8 文中の下線部(7)に関連して、このような体制をさす言葉として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 49

- ① 開発独裁
- ② 武断政治
- ③ 市場経済
- ④ 重商主義

問9 文中の下線部(8)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選びマークしなさい。

50

- ① 社会主義をうたった世界最大の連邦国家が消滅し、連邦に属していた国々は独立国家共同体を結成した。
- ② ベルリンの壁が開放され、東西ドイツが統一された。
- ③ 東欧の社会主義諸国が計画経済を放棄したため、ワルシャワ条約機構は解体した。
- ④ 自主管理労組「連帯」の指導者であったワレサは、民主化したポーランドの大統領に選出された。